

授業科目名	対象学科・専攻	年次	期別
現代教師論 Teaching Modern Teachers	児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	前期
科目	施行規則に定める科目区分又は事項等		
教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員名
			木村 一恵
講義	2	必修	担当形態
			単独
全体目標及び概要			
<p>現代社会における幼児教育の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員のやくわり・資質能力・職務内容等について身につけ、教職への意欲を高め、適性を判断し、進路選択に資する教職のあり方を理解する。</p> <p>未来を担う子どもたちの保育・教育にあたる保育者の役割と倫理、専門性について学ぶ。</p> <p>保育者としてだけでなく、人間として成長していくことと専門職としての成長について学ぶ。</p>			
一般目標及び到達目標			
<p>(1) 今日の学校教育や教職の社会的意義を理解する。</p> <p>1) 幼稚園教育の目的とその担い手である教員（保育者）の存在意義を理解している。</p> <p>2) 他の職業と幼稚園等教職である専門職を比較することを通して理解している。</p> <p>(2) 幼児教育の動向を踏まえ、今日の教員（保育者）に求められる役割や資質能力を理解する。</p> <p>1) 子どもたちのおかれている社会の現状を理解する。</p> <p>2) 幼児教育観の変遷を踏まえ、今日の教員（保育者）に求められる役割を理解している。</p> <p>3) 今の教員（保育者）に求められる基礎的な資質能力を理解している。</p> <p>(3) 教員（保育）の職務内容の全体像や、課せられる服務上、身分上の義務を理解する。</p> <p>1) 幼児への指導及び地域の子育て家庭への支援等、教員（保育者）の職務の全体像を理解している。</p> <p>2) 専門職として適切に職務を遂行するため、学び続けることの必要性を理解している。</p> <p>3) 教員に課せられる服務上、身分上の義務を理解している。</p> <p>(4) 幼稚園の担う役割が多様化する中で幼稚園内外の専門家等と連携する必要性について理解する。</p> <p>1) 幼稚園内の教職員や専門性を持つ人材と連携し、組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している。</p>			

授業内容と進め方		
回数	授業内容	到達目標の番号
1	教職を目指すに当たって、「人としてどう生きるか」についてグループ討議をし、さまざまな考え方のあることを学ぶ。	(1) 1) 2)
2	現代の子どもたち、親の生活の現状を理解する。	(2) 1)
3	教員（保育者）の役割、倫理、資質について学ぶ。	(1) 1) 2) (2) 2) 3)
4	教員（保育者）の性差について討議し、性差の是非について理解する。	(1) 2) (2) 2) 3)
5	子どもの命を守る保育・教育について学ぶ。	(1) 1) 2) (2) 2) 3)
6	子どもの求める理想の教師像（保育者像）について具体的に考えを述べる。	(1) 1) (2) 2) 3)
7	保護者の求める理想の教師像（保育者像）について具体的に考え意見交換をする。	(1) 1) (2) 2) 3)
8	国、社会の求める理想の教師像（保育者像）について意見交換をし、子ども、親の求める教師像（保育者像）との比較をする。	(1) 1) (2) 2) 3)
9	教職に就いたらどのような子どもに育てたいのか自分の考えを具体的に述べる。	(1) 1) (3) 1) 2)
10	教員に課せられた服務上、身分上の義務について学ぶ。	(3) 3)
11	指導力不足、教員の精神的疾患による休職等、教育現場で起きている問題について理解する。	(2) 2) (3) 3)
12	幼稚園に通う子どもたちだけでなく、地域の子育て家庭の支援、の重要性を理解する。	(3) 1)
13	幼稚園内の教職員や専門機関との連携の必要性について学ぶ。	(4) 1)
14	専門職として職務を遂行するためには、学び続けることの必要性を理解する。	(3) 2)
15	幼児教育の現状を踏まえ、これからの教員（保育者）に求められるものは何かを理解する。	(2) 3) (3) 1) 2)
成績評価方法	授業への取り組み 30% 課題レポート 70%	
テキストおよび参考文献	「現代教師論」山口短期大学 保育白書	
メッセージなど	教職とはどういうものなのか。人が人を育てることの重さを伝えながら、子どもや保護者と共に育っていける自分を発見できるようすすめていきます。	